

ふれあいのある心豊かなまちをめざして

特定非営利活動法人

高浜南部まちづくり協議会 まちづくり計画
- 港小学校区 地域計画 -

2023~2032

local community plan , NANBU

【2023年度改訂版】



目次

はじめに	1 ページ
1. 港小学校区はこんな地域 —現況と特徴・課題—	4 ページ
2. こんな地域になったらいいね！ —港小学校区の将来像とまちづくりの目標—	10 ページ
3. こんな地域にしていこう！ —まちづくり戦略計画—	11 ページ
4. こうやって取り組んでいこう！ —まちづくりの推進方策—	25 ページ
5. 参考資料	26 ページ

(1) はじめに

高浜市では、平成 17 年に構造改革を進める中で、市民が主役の協働のまちづくりを推進するための基盤づくりが進められました。

その第一歩として、すべての地域に地域づくりの核となる「まちづくり協議会」を設立し体系的活動も計画されました。また、地域内分権推進事業交付金を財源として住民が主体的に地域の特色を活かした地域づくりに取り組む仕組みづくりも行われてきました。

こうした中で、平成 17 年 3 月、高浜南部まちづくり協議会は発足し、平成 17 年 11 月には特定非営利活動法人となりました。高浜市内 5 つのまちづくり協議会のなかでは最初の設立であり、令和 4 年度には設立 18 年目を迎え、地域づくりを主体的に担う団体としてその活動も定着しています。

「市民が主役」の「協働のまちづくり」を推進するために、平成 21 年度に計画期間 10 年の「港小学校区地域計画」を策定しました。目指す将来像や目標をさだめ、活動方針をまとめ、これに沿い活動を展開してまいりましたが、10 年余りが経過し、時代潮流や地域の課題も変化が見られるようになりました。

また、平成 27 年 4 月には「高浜市まちづくり協議会条例」が施行され、まちづくり協議会が公共的団体として担保されました。「みんなのために、みんなで取り組む」「みんなで知恵や力を少しずつ持ち寄る」「想いを共有しながら運営・活動する」ことなどを今まで以上に意識しながら、自主的・主体的なまちづくりを進めていくことが大切になっています。

そこで、時代や課題に的確に対応していくために、また「住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」と思える地域をみんなで力を合わせてつくり上げていくためにこれまでの「地域計画」を見直し、第 2 次地域計画を策定しました。

本冊子は、「港小学校区地域計画 2023～2032」の前半 5 年間を見据えたものです。

(2) 港小学校区の目指す「協働のまちづくり」とは

少子高齢化や人口減少社会を迎える中、安全・安心で活力のある地域社会をつくっていくためには、行政主導の画一的なサービスではなく、多様化する住民ニーズや変化する地域の実情に合ったきめ細やかな対応が必要です。

そのためには、福祉・環境・防災などの住民に身近な課題や魅力あるまちづくりについて、そこに暮らす人々が自ら考え、自ら解決していく住民主体のまちづくりが必要と考えます。

住民主体とは「自分たちの住むまちをこんなまちにしたい」とか「こうなったらいいな」という思いを、そこに住むみんなが行動し、そして実現していく活動のことをいいます。市民がやるべきこと、行政がやるべきこと、協働でやるべきことなど、それぞれ役割を分担しながら、市民と行政がお互いに知恵を出し合い、協力して目指すまちづくりを進めていく、それが港小学校区の目指す「協働のまちづくり」です。

(3) 港小学校区での地域計画の進め方と目的

地域目標の達成に向けて、施策や具体的事業を盛り込んだ概ね10年を期間とする計画を作成し、その計画に基づき単年度事業を実施します。毎年度事業の実施状況を評価し、当初の事業目的や数値目標が達成されているか、実施方法に問題はなかったかなどの解析を行い、次年度以降の事業展開に活かします。

また、計画期間満了時に計画そのものの総合的な評価を行い、新たな課題の抽出なども含め、次の地域計画に反映させていきます。

地域の住民が地域のことについて互いに話し合い、その結果、人材の育成や住民力、地域力の向上が図られ、新しい活動が創出されることが期待できます。地域計画は、地域自治による安全・安心で活力ある地域社会を築いていくための有効な手段といえます。(P.3の図参照)

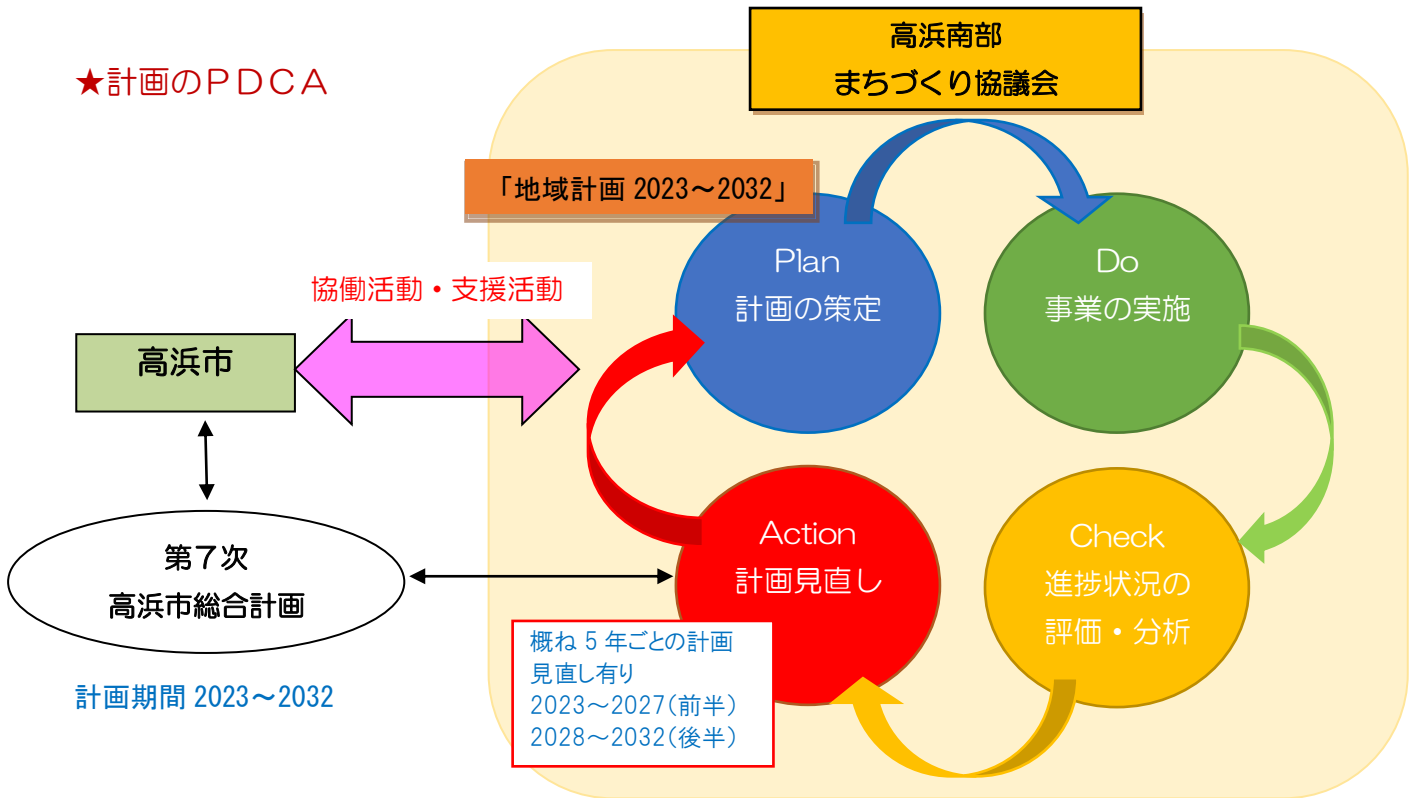
(4) 計画の構成と期間

計画期間は第7次高浜市総合計画との整合性を図るため、2032年を終期とします。また、必要に応じて計画の見直しを行います。

(5) 策定体制

地域計画は、まちづくり協議会と、高浜市や社会福祉協議会の職員が中心となって協働で作成し、まちづくり協議会で検討・承認します。

★計画のPDCA



コラム

高浜市における「地域計画」とは

「地域計画」は、地域の課題解決や魅力アップに向けて、地域の市民の皆さんの「こんなまちになったらいいな！」「こんなまちにしていきたい！」といった想いを踏まえ、小学校区単位の将来像、まちづくりの目標や活動方針、自主的・自発的に取り組む活動内容等を長期的な視点で定めた計画で、まちづくり協議会が主体となって策定するものです。

■市民が主役のまちづくりをめざして ～「地域計画」の策定～

私たちのまち高浜市では、自治本来の姿に立ち返り、「自分たちのまちのことは、自分たちで考え、つくっていく」という決意のもと、地域内分権を推進してきました。

地域に身近な課題は地域に住んでいる市民が一番よく知っています。

「地域の課題を、地域の実情にあった、より良い形で解決したい・・・」

「もっと地域の魅力やいいところを活かしたまちづくりを実現したい・・・」

そんな地域の市民の皆さんの想いをかなえていくために、平成 20 年度に、まちづくり協議会やまちづくり協議会設立準備委員会において全小学校区で「地域計画」を策定しました。

■地域計画の位置づけ

「地域計画」は、高浜市のまちづくりの最高規範である「高浜市自治基本条例」（第 18 条）に位置付けられた計画で、各小学校区の自主的・自発的・自律的なまちづくり活動の長期的な指針となるものです。

また、高浜市のまちづくりの設計図である「第 7 次高浜市総合計画」の「基本構想」にも「地域展望」の項目が設けられ、市政運営にあたっては「地域計画」を“地域の想い”として尊重し、地域の「やりたい！」「こうしたい！」という自主的・自発的な取り組みを応援するとともに、地域とともに協働して取り組んでいくことが明記されています。

■計画の構成と期間

この「港小学校区地域計画」は、地域の将来像とまちづくりの目標・基本方針、まちづくり計画、推進方策で構成します。計画期間は、第 7 次総合計画との整合をとるため、2023 年度（令和 5 年度）から 2032 年（令和 14 年度）までの 10 年間とします。ただし、地域を取り巻く状況の変化等に柔軟に対応していくため、必要に応じて見直しを行います。

1. 港小学校区はこんな地域 — 現況と特徴・課題 —

(1) 港小学校区の概要

港小学校区は、高浜市の最南部に位置しています。地区の中央部を稗田川と合流した高浜川が西流して衣浦湾にそそぎ、臨海部には工場が集積し、内陸部には近年やきもの工場の閉鎖等にともない、新興住宅の立ち並ぶ区画が増加してきました。

(2) データから見る港小学校区の姿

■ 基礎データ (令和5年2月1日現在)

①人口	7,187人
14歳以下	979人 (13.6%)
15～64歳	4,794人 (66.7%)
65歳以上	1,414人 (19.7%)
②世帯数	3,199世帯
平均世帯人員	2.25人/世帯
③面積	2.35km ²
市街化区域面積	1.86km ²

■ 主な地域資源

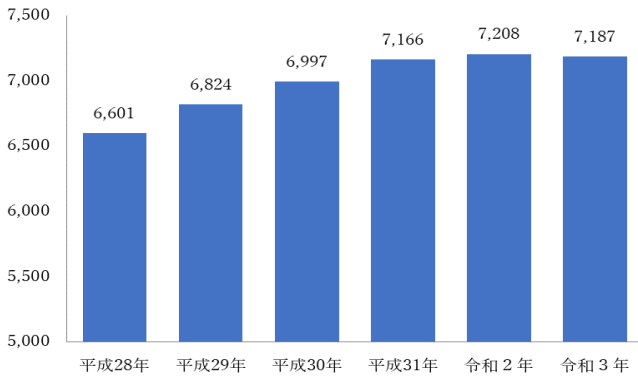
高浜港
高浜川
高浜川リバーサイドパーク
稗田川
田戸神社
神明社
秋篠寺

- 「小面積、少子高齢化、人口微増の傾向」**
 本地区は令和5年2月現在、人口7,187人で、市内では最小規模です。
- 「小規模工場の減少と住宅地の増加が進展」**
 本地区は、臨海部には工場が集積し、内陸部ではかつては住まいとやきもの工場が混在した住民混在地域でしたが、近年は新興住宅が立ち並ぶ地域へと転換が進んでいます。
- 「主要幹線道路は短距離、細い生活道路が多い」**
 交通条件は、名鉄三河線の鉄道駅がない地域で、南北交通として本市の中心地区と結ぶ都市計画道路碧南高浜線、主要地方道名古屋碧南線が通るとともに、東西道路として地区の外周を通る都市計画道路西尾知多線などがあります。
- 「市の資産は平均的に保有」**
 公共施設としては、南部幼稚園・保育園、港小学校、南中学校、武道館、老人憩の家、デイサービスセンター、洲崎公園、碧海公園、外淵公園、南部ふれあいプラザと第2ふれあいプラザ(旧・南部公民館)があります。ほかにも、社会福祉協議会が所有する地域共生型福祉施設「あっぽ」があります。

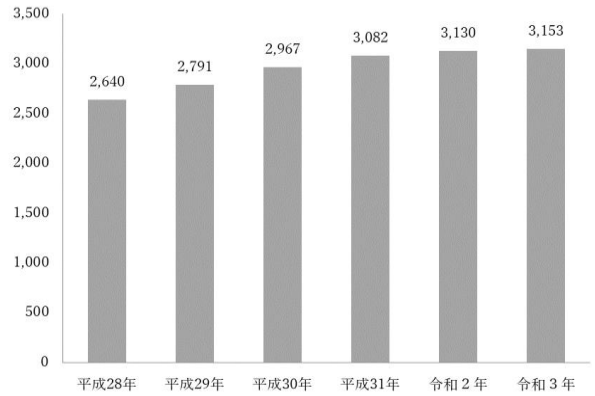


■人口の推移

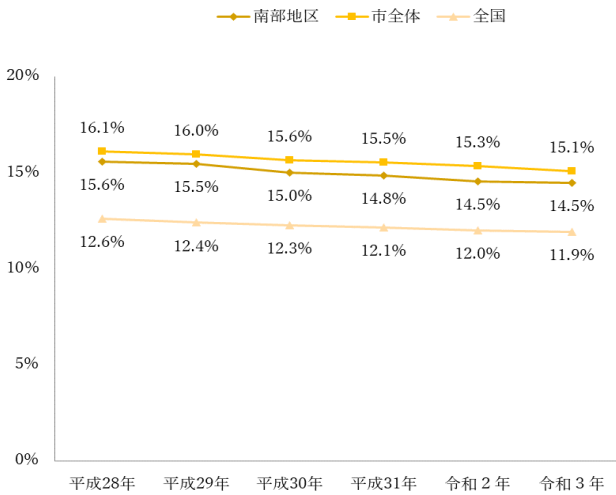
①総人口の推移



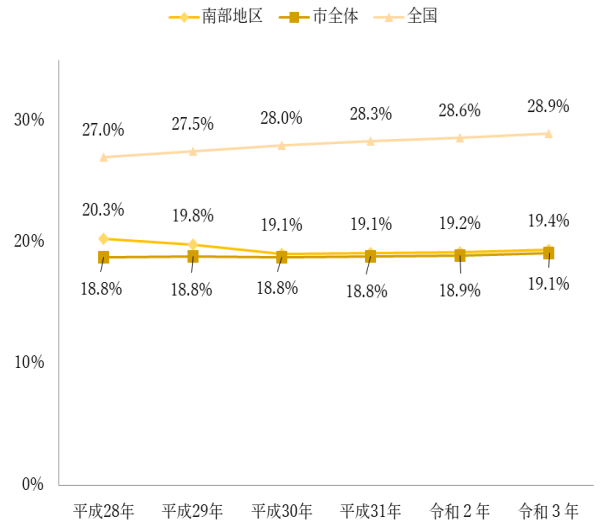
②総世帯数の推移



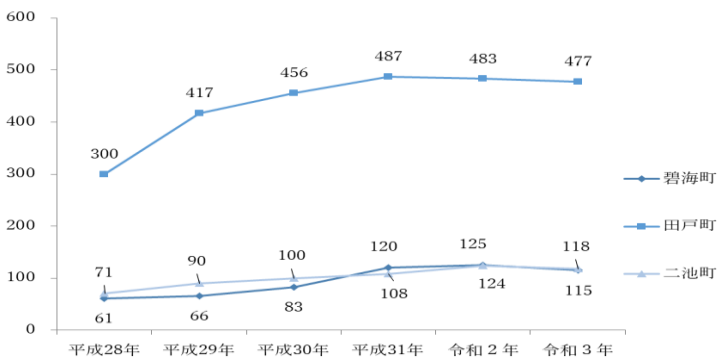
③14歳以下人口の推移(人数・比率)



④65歳以上人口の推移(人数・比率)

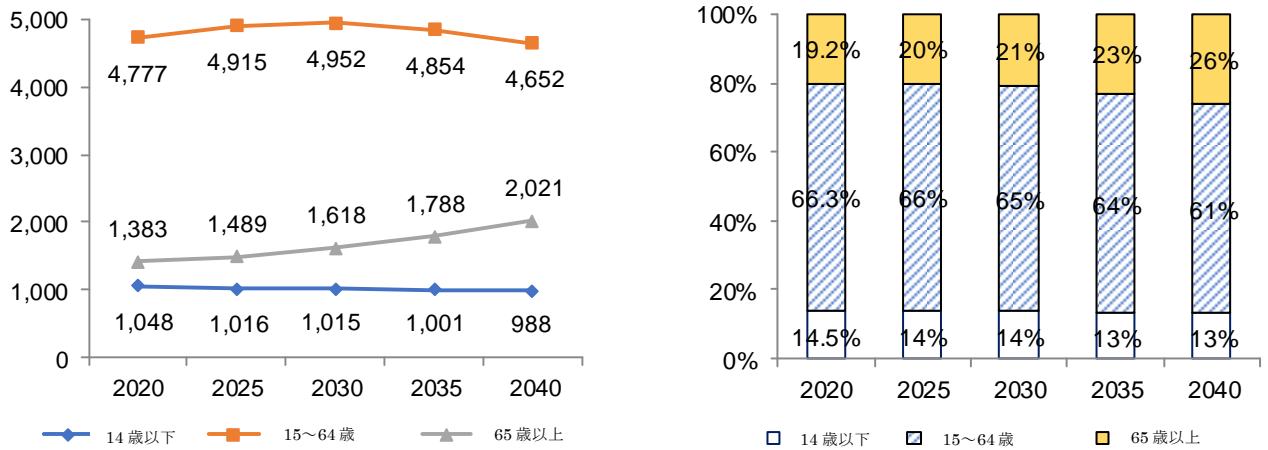


⑤町別外国籍人口の推移



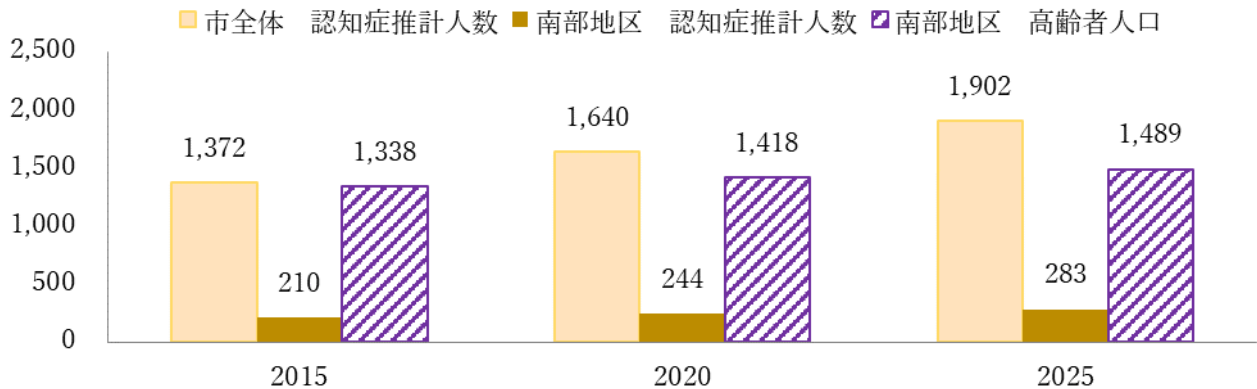
- ◇ 14歳以下人口について、一番人口の多い年齢層が平成31年より「5～9歳」から「10～14歳」に変わっています。
- ◇ 65歳以上人口の伸び率はほぼ横ばいで、市内平均を比較しても同程度です。また、令和3年度時点での全国平均（28.9%）から見るとまだ低い状況にあります。
- ◇ 近年外国籍住民の数が増加傾向にあり、この地区全体としては平成28年度から令和3年度にかけて、1.6倍程度増加しています。特に、田戸町に多く居住しています。

■人口予測(総人口・年齢構成)



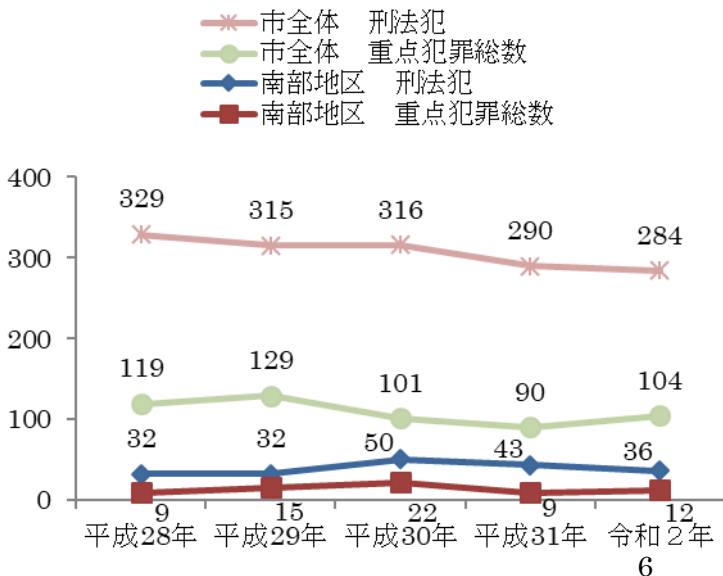
- ◇ 総人口および港小学校区の人口は増加し続け、2040年(R22)にピークを迎えると考えられます。
- ◇ 2030年(R12)には、高齢化率が21%を超える「超高齢社会」に突入すると考えられます。

■認知症推定人数 出典：高浜市データより (H27.1.27「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」をもとに試算)



- ◇ 高齢者数(特に後期高齢者数)の増加に伴い、認知症は年々増加することが見込まれます。

■犯罪発生件数の推移(刑法犯・重点犯罪) 出典：警察公表資料より



◇ 重点犯罪及び刑法犯は市内で4番目の状況です。

※R2 重点犯罪総数の割合

- ①吉浜 32.7%、②翼 28.9%、③高浜 22.1%、④南部 11.5%、⑤高取 4.8%

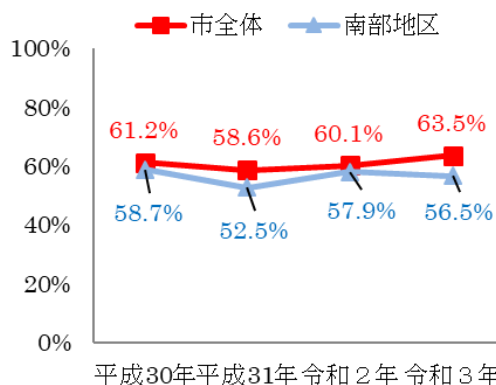
※R2 刑法犯の割合

- ①翼 30%、②吉浜 28%、③高浜 19%、④南部 13%、⑤高取 10%

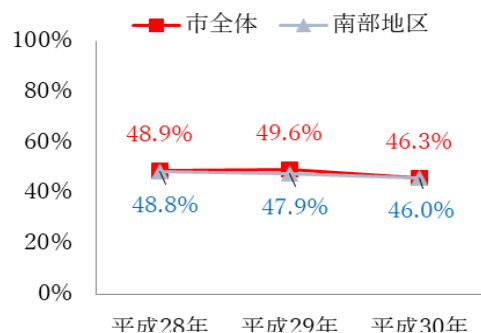
(3) 「市民意識調査」から見る港小学区の長所と課題

■まちづくりへの参加とまちへの愛着

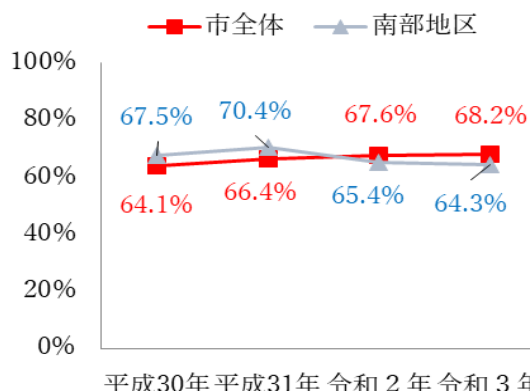
※地域活動に参加したことがある市民の割合



※子どもとふれあう行事に参加したことがあるという市民の割合



※高浜市に愛着を感じるという市民の割合



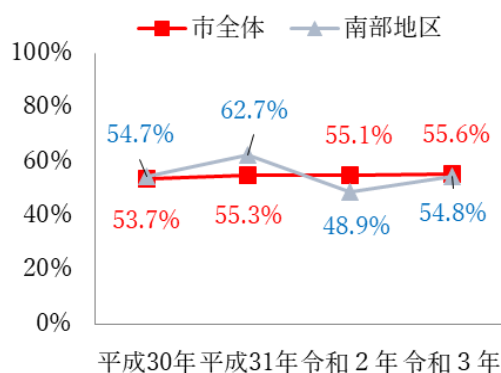
- ◇ 「地域活動に参加したことがある市民の割合」は、55%前後で推移していますが、毎年市平均を下回っています。
まちづくり協議会および各地域団体による、多様な活動が活発に行われていることを活かし、近年増加している外国籍住民を含め、幅広く多くの地域住民へのアプローチを継続する必要があります。
- ◇ 「子どもとふれあう行事に参加したことがある市民の割合」は、40%後半を推移しています。現在実施している事業を活かしながら、異年齢の交流機会の創出に一層力を入れていく必要性を感じます。
- ◇ まちづくりを盛り上げる重要な要素である「まちへの愛着」は、市平均が増加傾向にあるのに対し、南部地区は減少傾向にあり、令和2年以降は市平均を下回りました。これまで以上にマンパワーを活かし、活動の充実をはかる必要性があると感じています。

【市民意識調査】

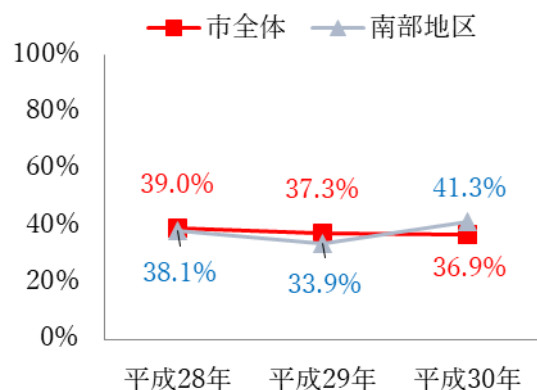
毎年4月実施。市内全小3～中3生および、無作為抽出した18歳以上の市民2,500人にアンケートを送付

■防災・防犯に対する意識

※安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思っている市民の割合



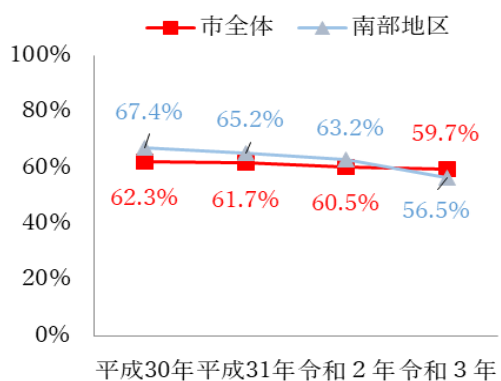
※自分自身、災害（地震や風水害など）への備えができていると思う市民の割合



- ◇ 「安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思っている市民の割合」、「自分自身、災害（地震や風水害など）への備えができていると思う市民の割合」は、平成30年度については市平均よりも高くなっています。「安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思っている市民の割合」は、その後毎年増減していますが、海岸沿いであるという土地柄からも、子どもの頃から「自分の身は自分で守る」という自助意識をより高めていく必要があります。

■健康づくりに対する意識

※一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思っている市民の割合



- ◇ 「一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思っている市民の割合」は南部地区は減少傾向にあり、令和3年度は市平均よりも低くなりました。超高齢社会に向けて、**健康寿命の延伸**が重要です。若い頃からウォーキングなど、日常的に軽く体を動かす習慣を身につけていくこと、また、みんなで楽しく健康づくりに取り組める環境づくりが大切です。

(4)現況と新しいまちづくりへの課題

港小学校区課題の概要の推移 (2023 現況 → 2032 にむけて)

これまでに達成してきたこと

- ・ 南部公民館のコミュニティプラザ化（南部第2ふれあいプラザ）を実現
- ・ 田戸町防災倉庫設置を実現
- ・ 各町内との総合防災訓練を充実
- ・ 公園管理活動の継続と充実に注力
- ・ 一軒一灯運動を展開し夜道の明るさを確保
- ・ かわらパーク（洲崎公園）の制作
- ・ まち協掲示板の設置完了
- ・ 見守り活動の継続
- ・ まち協事業の中で課題解決に向けた事業を展開
- ・ 活動において学区内諸団体と連携



引き続き取り組む課題

- ・ プラザ2館をはじめ、地域にある場を柔軟に活用する
- ・ 外国籍住民を含めた地域住民の防災意識をさらに向上させる
- ・ 公園の維持管理の延長線上に憩いの場づくりを展開する
- ・ 通学路など、道路の危険箇所の確認や重点箇所の監視体制を整備する
- ・ 水害等、地域性を重視した防災拠点の整備を目指す
- ・ 学区内諸団体との連携をこれまで以上に強化する

新しい課題

《多文化共生》

- ・ 増加する外国籍住民に対して、共に地域を活性化する仲間として活躍してもらえる環境づくりを目指す

《デジタル化》

- ・ 高齢者も時代に合った道具を使い、便利さを享受できる仕組みと風土をつくる

《地域資源のさらなる活用》

- ・ 地域の民間事業者や施設、高齢者など、まち協に協力してもらえる人や団体を増やしていく

2. こんな地域になったらいいね！

—港小学校区の将来像とまちづくりの目標—

(1) 港小学校区の将来像

地方分権の進展や人口減少・少子高齢社会の到来に加え、地方においても厳しい財政状況が続くことが予測されます。これからは、「地域でできることは、地域で行う」「地域だけでできないことは、行政と協働して行う」といった考えのもと、「物の豊かさ」だけではなく、「心の豊かさ」「人と人のつながり」といった価値が重視される「新しい社会」を創り上げていかなければなりません。

そこで、碧海町、田戸町、二池町の高浜市立港小学校区内の住民や各種団体は互いに協力し、地域共通の課題の解決に努めることにより、住民相互の連帯感と自治意識の向上を図るとともに、高齢者、チャレンジド、子どもたちを始め、**すべての住民が共に支えあい、安らぎとふれあいのある心豊かな地域共生によるまちづくりを目指しています。**

「ふれあいのある心豊かなまち」

(2) まちづくりの目標

1 すべての住民が支えあう 地域共生のまち

子どもたちやチャレンジド（障がいを持ったことによって挑戦する課題、使命を与えられた人）、高齢者の皆さん等、地域住民のすべての皆さんが共に支えあう地域共生のまちづくりを目指します。

2 安全で安心して 暮らせるまち

身近に起きる犯罪や今すぐ発生しても不思議でない大地震などから被害を最小にするため、みんなの力、みんなの活動で安全、安心なまちづくりを目指します。

ふれあいのある 心豊かなまち

3 ふれあいのある 住みよいまち

みんなで協力し合って実施する行事やイベントを通じ、「心の豊かさ」「人と人のつながり」を持った安らぎとふれあいのある心豊かなまちを目指します。

4 持続する体制づくり

「地域でできることは、地域で行う」といった地域内主権によるまちづくりを持続、推進するための体制づくりを行います。

3. こんな地域にしていこう！ —まちづくり戦略計画—

将来像「ふれあいのある心豊かなまち」の実現に向けて、まちづくりの目標を達成するため、次のとおりまちづくり事業を実施していきます。

事業の実施にあたっては、以下の協働タイプに応じて取り組んでいきます。

協働のタイプ

自主： まちづくり協議会が主体となって実施し、市は支援する

協働： まちづくり協議会と市が役割分担をしながら協働で実施する

協力： 市が中心となって実施し、まちづくり協議会が協力する

◆地域を取り巻く状況は目まぐるしく変化している。地域計画に記載がなくても、まちづくりの見地から地域のためにこのような事業が必要であると判断したら、新事業の企画会議を開催のうえ、随時新規事業を実施していく。



港小学校区(南部地区)のまちづくりの基本的構え

1. 人と人のつながりを大切にします
1. まちづくりの将来に向けて学校と家庭と力を合わせ
良いこどもの育成に努めます
1. 地域でやるべき事は可能な限り地域のみんなで取り組みます

(1) チャレンジドの自立支援に関する事業

チャレンジドの就労体験活動、地域共生の為に調査等を行うことにより、チャレンジドが自立し、地域の中で暮らせるように支援を行う。



事業名	事業内容 (なにを どのように)	協働タイプ
①チャレンジドの 就労支援事業	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジドの就労体験活動や運営の支援を行う。 チャレンジドの支援について他事業所との連携を行い、相互に就労選択の機会を増やす。 	協働
②チャレンジドの 能力向上活動事業	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジドの個々に合わせた能力向上を図るため体験活動に積極的に取り組み、力を伸ばすための工夫をしていく。 	協働
③チャレンジドと 地域共生事業	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジドが希望する暮らし方を尊重し、自立に向けた支援を行う。 地域共生型施設に食事提供や清掃業務の担い手として連携していく。 	自主
④チャレンジドと 地域美化事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献として美化活動を行い、地域の方々との交流、相互理解の場として行く。 	自主
⑤チャレンジドと 地域交流事業	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジドと地域の方がふれ会えるイベントを開催し、チャレンジドの理解を深める場としていく。 地域のイベントに出店、参加し積極的に地域生活に参加し交流する。 	協働



行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2023	2024	2025	2026	2027	2028～
① 一般事業所への就職者数	C A 支援グループ	1人/年	1人/年	1人/年	1人/年	1人/年	見直し
① 就労支援施設利用者数	同上	25人/年	28人/年	30人/年	30人/年	30人/年	見直し
① 施設見学会数	同上	1回	1回	1回	1回	1回	見直し
		適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	
② 能力向上活動	同上	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	見直し
③ 地域共生事業調査研究	同上	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	見直し
④ 地域美化活動参加数	同上	12回/年					見直し
⑤ 地域交流活動参加数	同上	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年	見直し
		100人	100人	100人	100人	100人	



(2) 介護予防に関する事業

高齢者の方の生活機能の維持または改善を図るため、社会福祉協議会・いきいきクラブ・福祉施設と連携して支援を行う。

事業名	事業内容 (なにをどのように)	協働タイプ
① 宅老所訪問による 介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> * 宅老所の利用者に対し、料理を届けたり介護予防のための支援を実施する。 * 要援護者を支援するための仕組みづくり、平常時活動、緊急時活動体制を構築する。 	協働
② 健康体操事業	<ul style="list-style-type: none"> * 健康な身体の維持を狙いに、高齢者を対象として、講師による介護予防体操と健康講話を実施する。 	自主
③ 男のレシピ 研究会事業	<ul style="list-style-type: none"> * 加齢と共に退化する挑戦能力の維持、回復を狙い高齢男性を対象とした料理教室を開催する。 * 調理を通して参加者のふれあい交流を深める。 	自主
④ 認知症 サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> * 認知症に関する知識の普及により、予防と支援をめざし、認知症サポーター養成講座を市と協働で開催する。 * 各町内会・小学校等を対象に講座の実施。 	協働
⑤ 生涯現役の まちづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> * 南部ふれあいプラザ・第2プラザを拠点として、健康自生地としての取り組みを実施する。 * 買い物弱者や買い物難民を支援する。 	自主
⑥ 要援護者支援 事業	<ul style="list-style-type: none"> * 地域住民への訪問による見守り活動を重点展開する。 * 老々見守りを推進していく。 * 相談事を受けたり、地域と行政の橋渡しを行う。 	協働
⑦ タブレット 教室事業	<ul style="list-style-type: none"> * 高齢者が時代にあった道具を使いこなすことを目指し、タブレットを用いて教室を開催する。 * 高齢者だけではなく、幅広い世代がタブレットを活用し、交流することを目標とする。 	協働
⑧ 高齢者居場所づく り事業	<ul style="list-style-type: none"> * 3町のいきいきクラブを一本化し、一つの拠点で活動を実施する。 * 高齢者を資源ととらえ、各活動において役割を担い、高齢者が地域社会を支えることを目指す。 	協働



行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2023	2024	2025	2026	2027	2028～
①料理で施設 訪問回数	生きがい グループ	12回/年	継続				見直し
②健康体操 実施回数	同上	96回/年	継続				見直し
③男のレシピ 実施回数	同上	12回/年	継続				見直し
④ 認知症サポーター 養成講座回数	同上	5回/年	継続				見直し
⑤生涯現役の まちづくり事業	同上	289回/年					見直し
⑥訪問による 介護予防	同上	180軒/年	継続				見直し
⑦タブレット教室 実施回数	同上	2回/年 新規					見直し
⑧高齢者居場所 づくり	同上		12回/年 新規				見直し



(3) 子どもの健全育成に関する事業

「ふれあいプラザ」2館のスペースを活用し、幼児・児童とその親に向けた種々教室などを開催し、ふれあいの場所づくりを行う。また、学校をはじめ地域団体と連携し、子どもの健全な育ちをサポートしていく。

事業名	事業内容 (なにを どのように)	協働タイプ
①子どもの居場所づくり事業	*南部ふれあいプラザ2階のコミュニティスペースを解放して、子どもたちが自由に遊べる場とする。	自主
②親子ふれあい講座事業	*親子を対象に、地域の方の力を借りて工作教室など各種教室を開催する。	自主
③子ども向け講座事業	*子どもの参加を中心としたお菓子作りや各種勉強会を開催する。 *【季節特別講座】【ものづくり講座】など併設	自主
④子育て中の親向け事業	*子どもとの遊び方(年齢にあった)各種教室を開催する。	自主
⑤子どもの健全育成・安全を巡る地域団体との協働	*子どもの健全育成事業や、子どもの安全を守るために構成団体が実施する事業に協力し、学校、家庭、子どもの支援団体の連携を強めるための支援をする。 *世代間交流の場づくりに取り組む。	自主
⑥青少年の非行防止活動	*青少年の非行防止に関する講演会や、勉強会などを通して、地域での子育てを考え、実践する。 *子どもや中学生と共に非行やいじめなどの課題を考える。	自主
⑦子どもの明るい未来を支援する活動事業	*子どもの健全育成に関する以下の活動を実施する。 ①「ステップ Jr」の学習項目支援 ②「ステップ」の昼食支援 ③「子ども食堂」の夕食支援	協働



行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2023	2024	2025	2026	2027	2028～
①コミュニティスペース 開放日	まち協 事務局	359日/年	継続				見直し
②親子ふれあい 講座実施回数	こども グループ	2回/年	2回/年	3回/年	3回/年	3回/年	見直し
③子ども向け講 座実施回数	同 上	11回/年	継続				見直し
④親向け教室 実施回数	同 上	32回/年	継続				見直し
⑤地域団体協働 事業実施回数	同 上	4回/年	継続				見直し
⑥青少年の 非行防止活動	同 上	12回/年	継続				見直し
⑦学習支援 実施回数	同 上	3回/年	継続				見直し
⑦昼食支援 実施回数	同 上	10回/年	継続				見直し
⑦子ども食堂 実施回数	まち協・ 協力団体	24回/年	継続				見直し



(4) 地域の防災・防犯に関する事業

「自分を守る・地域で助け合う」の考えのもと、安全のまち、安心のまちをみんなの力、みんなの活動で具現化するため、防災訓練、防犯活動を行う。

事業名	事業内容 (なにを どのように)	協働タイプ
①個別防災 訓練事業	*子どもやその親の世代を対象に防災に対する意識向上を図るために、防災関連施設の見学及び体験を実施する。	自主
②総合防災訓練事業	*地域の防災力向上のため、高浜市、碧海町、田戸町、二池町の合同防災訓練を実施する。 *災害時支援体制を強化する。	協働
③防災知識向上事業	*町内会をはじめとした地域住民を対象に、勉強会やフォーラムなど実施し、地域防災力の向上を図る。 *外国籍住民に対して、防災知識取得や啓発に取り組む。 【3町内会防災勉強会】	自主
④防犯パトロール 事業	*犯罪抑止力として、青色回転灯車両にて巡回、小学校登下校時の見守りパトロールを実施する。 *防犯の情報を発信する。 *防犯パトロールをしながらゴミ不法投棄監視を実施する。	自主
⑤防犯灯管理事業	*南部地区にある防犯灯を自分たちの目で確認して管理する。 *外灯の球切れや器具の交換などを専門業者に連絡・手配をする。(LEDに順次取り替える)	協働
⑥子どもの安全 見守り事業	*「こども110番の家」と連携し、下校時や夜間の見守りを実施する。	協働



行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2023	2024	2025	2026	2027	2028~
①個別防災訓練 回数	防災防犯 グループ	2回/年	継続				見直し
②防災訓練回数	同上	1回/年	継続				見直し
③防災知識向上 事業	同上	4回/年	継続				見直し
④地域防犯 パトロール回数	同上	青パト 5回/週					見直し
④ゴミ不法投棄 防止対策件数	同上	不法投棄発見時は関係 機関に連絡する					見直し
⑤防犯灯 管理件数	同上	継続					見直し
⑥子どもの安全 見守り事業	同上	400回/年	継続				見直し



(5) 地域資源活性化事業

まちの「自慢」「魅力」「マンパワー」を「地域資源」として活用を図り、地域の活性化とまちへの愛着の醸成を目指す。また、誰もが生涯をとおして学習できる機会を提供することで、文化的にも成熟したまちへの成長につなげる。

事業名	事業内容 (なにをどのように)	協働タイプ
①地域資源活用事業	*川まつり、かわらパーク（洲崎公園）製作など、地域の特色を活かし、伝統を見直し、まちへの愛着を深める事業を展開する。	自主
②PM事業	*地域住民の様々な特技を活かし、小さな困りごとの解消や小規模な業務を請け負うことで、自主財源の確保につなげ、交付金だけに頼らず独自のまちづくりに活かしていく。 *困りごとや相談事がある住民に対し、気軽に話ができるような場を提供する。	自主
③多文化共生事業	*イベントを切り口にして、地域に住んでいる外国籍住民とともに、地域活性化を目指す。	自主
④社会教育推進事業	*まちづくりの見地から、社会教育活動を考え、南部第2ふれあいプラザをその実現の場として有効活用していく。	協働



行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2023	2024	2025	2026	2027	2028~
①地域資源を活用したイベント	地域盛り上げグループ	21回/年					見直し
②PM事業請負数	コミュニティビジネスグループ	30件/年					見直し
③多文化共生事業実施回数	まち協	2回/年					見直し
④社会教育活動の活動回数	第2プラザグループ	20回/年	21回/年	22回/年	23回/年	24回/年	見直し



(6) 公共施設の管理等に関する事業

地域の連携や公園に対する愛着を醸成するための3公園の管理、園児と高齢者とのふれあいの場としてのふれあい福祉農園の管理、地域への情報発信・連絡調整等南部ふれあいプラザの管理等を行う。

事業名	事業内容 (なにを どのように)	協働タイプ
①公園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> *地域の環境良化や公園に対する愛着を醸成するため、定期的な公園内清掃・除草・トイレ清掃、樹木の剪定、修繕等を実施するとともに、花壇の整備等、特色を生かした公園づくりを行う。 *各町内会が行う公園を利用したイベントに支援補助を行う。 	協働
②ふれあい福祉農園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> *自然の環境を通し園児や児童と高齢者がふれあえる、ふれあい福祉農園の管理を行う。 	自主
③図書管理業務事業	<ul style="list-style-type: none"> *ごく身近に知識、教養の資材を提供するため、図書の保管管理を南部ふれあいプラザにて行う。 	自主
④高浜市南部ふれあいプラザ第2プラザ管理事業	<ul style="list-style-type: none"> *高浜市南部ふれあいプラザ及び第2プラザの管理運営を行うとともに、会員相互への情報発信・連絡調整を行う。 *第2ふれあいプラザも引き続きまちづくりの拠点として管理運営し、ソフト活動の展開を担う。 *広報誌（たふねっと）の発行や視察対応を行う。 	協働
⑤稗田川堤防環境管理事業	<ul style="list-style-type: none"> *稗田川堤防の論地橋から外淵橋までの二池町側堤防の環境維持管理のため、樹木の伐採・剪定、草刈りを行う。 	協働



行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2023	2024	2025	2026	2027	2028～
①公園維持管理 整備回数	公園管理 グループ	2～3回/月	継続				見直し
①公園利用の イベント回数	同上	3回/年	継続				見直し
②植付、収穫等の 活動回数	農園管理 グループ	10回/年	継続				見直し
③図書保管管理	まち協 事務局	2回/年	継続				見直し
④ふれあいプラ ザ 2 館の稼働 日	まち協 事務局	359日/年	継続				見直し
⑤稗田川堤防環 境管理事業 実施回数	まち協 事務局	2回/年	継続				見直し



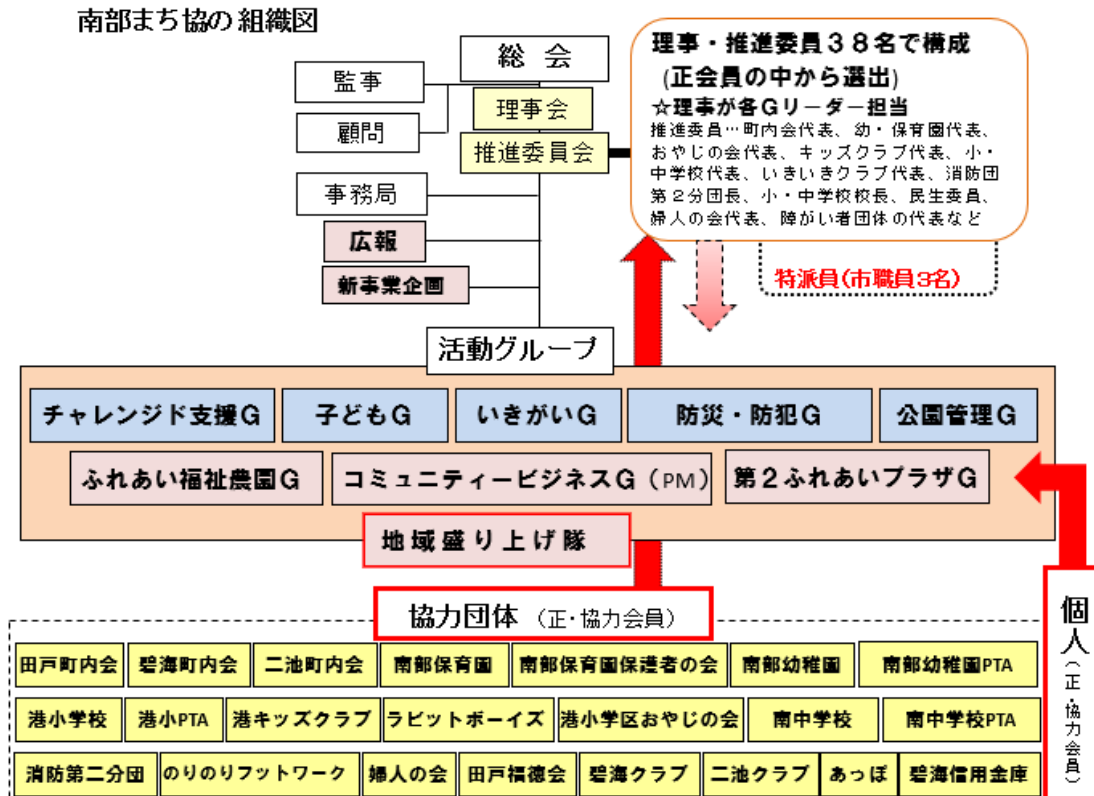
まちづくり計画イメージ図



4. こうやって取り組んでいこう！

(1) まちづくり推進の基本的考え方

町内会、港小PTA、港小学区おやじの会等地域関係団体の協力のもと、事業グループ活動を推進し港小学校区のまちづくりを進める。



(2) 行政との協働と役割分担に対する基本的な推進方策

地域計画に掲げるまちづくりの目標を達成するため、

1. 高浜南部まちづくり協議会が中心となり、地方主権の考えのもと、各種事業を計画、実施、評価を行う。
2. 地域住民にあっては、事業実施に対して参加することにより、コミュニケーションの形成を図るとともにまちづくりに対する意識を向上させる。
3. 行政は、具現化するための財源を委譲するとともに、地域とのパートナーシップによる後方支援を行う。

5. 参考資料

(1) 地域計画見直しの経緯

開催日	議 題
令和元年度	新事業企画会議 計4回開催 主な議題：まち協活動、資源活用と外国籍住民、高齢者の経験活用 他
令和2年度	新事業企画会議 計6回開催 主な議題：コロナ禍での活動、地域での困りごと、子どもと高齢者 他
令和3年度	新事業企画会議 計11回開催 主な議題：老人会、多文化共生、デジタル化、定款変更、第7次総合計画 他
令和4年度	新事業企画会議 計6回開催 主な議題：地域活性化、後継者問題、たふねっと、協働について 他
～令和4年8月	素案作成
令和4年8月 29日(月)	地域計画素案打ち合わせ
令和4年9月 16日(金)	令和4年度第5回理事会 地域計画素案説明および検討
令和4年10月 14日(金)	令和4年度第6回推進委員会 地域計画説明
令和4年10月 21日(金)	令和4年度第6回理事会 地域計画検討
令和4年11月 11日(金)	令和4年度第7回推進委員会 地域計画検討
令和4年11月 18日(金)	令和4年度第7回理事会 地域計画検討
令和4年12月 9日(金)	令和4年度第8回推進委員会 地域計画検討
令和4年12月 16日(金)	令和4年度第8回理事会 地域計画検討
令和5年2月 10日(金)	令和4年度第10回推進委員会 承認
令和5年2月 17日(金)	令和4年度第10回理事会 承認
令和5年5月 28日(日)	第18回通常総会 承認

(2) 地域計画見直し検討メンバー

(順不同)

	氏 名	役職
NPO法人高浜南部まちづくり協議会	水野 輝久	令和4年度理事長
	前沢 一則	令和4年度副理事長
	水野 厚也	令和4年度副理事長
	福島伸一郎	令和4年度事務局長
	神谷 義國	令和4年度理事
	都築 英補	令和4年度理事
	榊原四三吉	令和4年度理事
	清水 恵子	令和4年度理事
	牧野 和博	令和4年度理事
	神谷 伸一	令和4年度理事
	田代 清一	令和4年度理事
	門脇 亮也	令和4年度理事
	神谷 環光	令和4年度理事
	神谷 美百合	令和4年度理事
	角谷 國晴	令和4年度理事
	令和4年度推進委員 23名	
行政	氏 名	役職
	村松 萌	南部まち協特派員
	榊原 勇介	南部まち協特派員
	平川 麻美	南部まち協特派員
	多武 利康	総合政策グループ
東端 佑奈	総合政策グループ	



(3) 関連資料

No.	項目	内 容																								
1	正会員数	<p>各年度 正会員推移</p> <p>【年度】</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>R1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>91</td> <td>99</td> <td>101</td> <td>114</td> <td>113</td> <td>97</td> <td>103</td> <td>85</td> <td>81</td> <td>72</td> <td>73</td> </tr> </table> <p>【人】</p>	H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	91	99	101	114	113	97	103	85	81	72	73		
H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4																
91	99	101	114	113	97	103	85	81	72	73																
2	各年度 取組み 事業数	<p>各年度 取組み事業数推移</p> <p>【年度】</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>R1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> </table> <p>【人】</p> <table border="1"> <tr> <td>青空市</td> <td>ミニPM</td> </tr> </table> <p>【増加事業】</p>	H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	8	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	青空市	ミニPM
H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4																
8	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10																
青空市	ミニPM																									
3	追加 活動項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>活 動 項 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>碧海町防災倉庫設置、小学生と震災後の宮城県訪問、青少年非行防止活動</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>独居高齢者巡回訪問開始、生涯現役事業拠点活動、のりカフェ、チャレンジド宿泊訓練</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>設立 10 周年記念事業実施、ポッチャ大会</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>コミュニティビジネス活動開始、田戸町防災倉庫設置</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>カフェ&ベーカリーふるふる 10 周年記念祭</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>あすたか、ステップ、子ども食堂、子どもの安全見守り開始</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>わくわくフェスティバルにチャレンジドダンスチーム出場</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>粘土で焼き物作り</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>チャレンジド:アピリンピック（障がい者技能競技）愛知大会出場 スマホ・タブレット等情報通信機器活用事業（予定）</td> </tr> </tbody> </table>	年度	活 動 項 目	H24	碧海町防災倉庫設置、小学生と震災後の宮城県訪問、青少年非行防止活動	25	独居高齢者巡回訪問開始、生涯現役事業拠点活動、のりカフェ、チャレンジド宿泊訓練	26	設立 10 周年記念事業実施、ポッチャ大会	27	コミュニティビジネス活動開始、田戸町防災倉庫設置	28	カフェ&ベーカリーふるふる 10 周年記念祭	29	あすたか、ステップ、子ども食堂、子どもの安全見守り開始	R1	わくわくフェスティバルにチャレンジドダンスチーム出場	3	粘土で焼き物作り	4	チャレンジド:アピリンピック（障がい者技能競技）愛知大会出場 スマホ・タブレット等情報通信機器活用事業（予定）				
年度	活 動 項 目																									
H24	碧海町防災倉庫設置、小学生と震災後の宮城県訪問、青少年非行防止活動																									
25	独居高齢者巡回訪問開始、生涯現役事業拠点活動、のりカフェ、チャレンジド宿泊訓練																									
26	設立 10 周年記念事業実施、ポッチャ大会																									
27	コミュニティビジネス活動開始、田戸町防災倉庫設置																									
28	カフェ&ベーカリーふるふる 10 周年記念祭																									
29	あすたか、ステップ、子ども食堂、子どもの安全見守り開始																									
R1	わくわくフェスティバルにチャレンジドダンスチーム出場																									
3	粘土で焼き物作り																									
4	チャレンジド:アピリンピック（障がい者技能競技）愛知大会出場 スマホ・タブレット等情報通信機器活用事業（予定）																									
4	受講講座 と 取得資格	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県安全なまちづくり推進講座 ・日本防災士機構試験 防災士認証 4 名 ・普通救命講習（岡崎・刈谷） ・愛知防災リーダー研修（岡崎・刈谷） ・ボランティアコーディネーター 																								
5	青パト 実施者証 取得	<p>各年度 実施者証取得推移</p> <p>【年度】</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>R1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>51</td> <td>50</td> <td>47</td> <td>46</td> <td>66</td> <td>84</td> <td>79</td> <td>79</td> <td>80</td> <td>87</td> </tr> </table> <p>【人】</p>	H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	55	51	50	47	46	66	84	79	79	80	87		
H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4																
55	51	50	47	46	66	84	79	79	80	87																

高浜南部まちづくり協議会 まちづくり計画

—港小学校区 地域計画—

2023~2032

2023年5月

編集・発行

特定非営利活動法人

高浜南部まちづくり協議会